

藤が丘駅前地区再整備の考え方について

1 藤が丘駅前地区の再整備について

(1) 背景

藤が丘駅前では、老朽化が進みつつある昭和大学藤が丘病院（築44年）や藤が丘ショッピングセンター（築52年）の建替えなどの機能更新が考えられることから、その機会をとらえ、医療施設がまちなかに立地する特徴を生かし、隣接する駅前施設や公園、商店街と連携した、一体的なまちづくりを行い、地域の魅力向上を図ることが望まれます。

(2) 再整備の位置及び対象範囲（面積：約6ha）



出典：田園都市線駅周辺のまちづくりプラン（令和2（2020）年3月）

2 地区の課題

- 藤が丘駅前公園
 - ・駅前公園の緑の維持・向上
- 昭和大学藤が丘病院
 - ・建物・設備が老朽化し、医療の高度化も進んでいることから面積や空間の不足、耐震性に課題
- 沿道の街並みづくり
 - ・魅力的な生活利便施設等の立地による、沿道の魅力づくり
 - ・谷本公園周辺プロムナードとつながる豊かな緑



- 藤が丘ショッピングセンター
 - ・近年では建物の老朽化が進んでおり、買い物が不便である等の声が上がっている
- 藤が丘駅交通広場・駅周辺道路
 - ・安全な歩行空間の確保や一般車の乗降スペースの確保など更なる利便性の向上が期待される
- 高低差の解消
 - ・地形の高低差があり、高齢化が進行する中で、日常の移動手段の確保は深刻な課題



(3) 上位計画及び関連計画

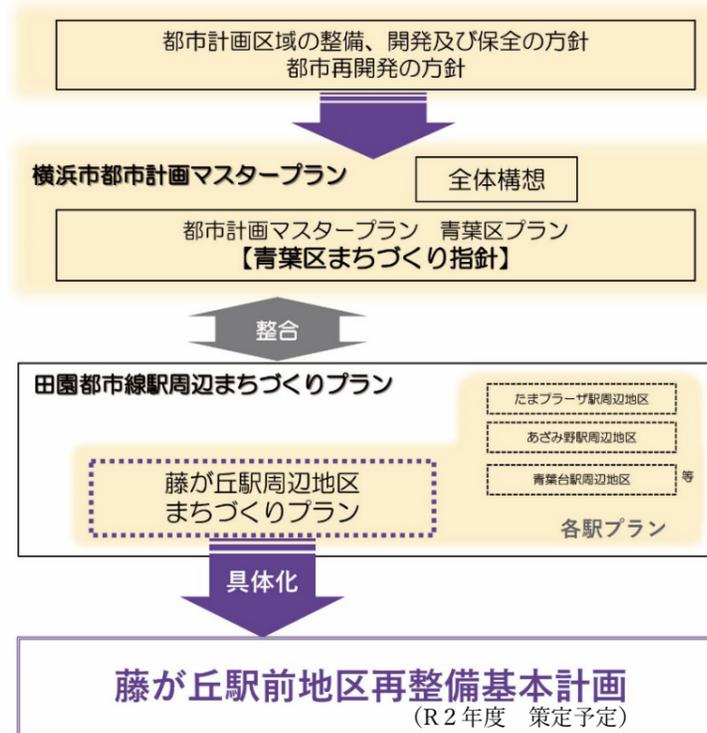
① 横浜市都市計画マスタープラン青葉区プラン「青葉区まちづくり指針」（平成29（2017）年9月）

藤が丘駅周辺は、駅勢圏が小さい生活拠点として、広域的な医療機能の維持・充実や医療関連機能の集積を図るとともに、住民の身近な生活の利便性を向上させるため、魅力的な店舗などの立地を促進することとしています

② 田園都市線駅周辺のまちづくりプラン（令和2（2020）年3月）

○次の50年に向けたまちの顔づくり

昭和大学藤が丘病院が立地する藤が丘駅周辺は、医療の充実したまちのイメージを生かしたまちづくりをどのように行うかを課題に挙げています。また、老朽化が進みつつある昭和大学藤が丘病院や駅前のショッピングセンターの機能更新が考えられることから、その機会を捉え、医療施設がまちなかに立地することを生かし、隣接する駅前広場や商業施設、公園、商店街との連携などにより地域の魅力を向上することが望まれるとしています。



3 再整備基本計画の検討経緯

「藤が丘駅前地区再整備基本計画(素案)」は、「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」の締結を受け、平成31年1月・令和元年9月に開催したワークショップ等を通じていただいた様々なご意見を踏まえながら作成してきました。

<参考>ワークショップ意見 ※ワークショップ主催者：横浜市都市整備局、東急株式会社、学校法人昭和大学

第一回 藤が丘駅周辺のミライをみんなで考えるワークショップ(平成31年1月・計3回開催)

●第一回のテーマ

- ① 藤が丘のまちの魅力や問題点を話し合おう
- ② 藤が丘駅周辺の再整備や機能更新に期待することなどを話し合おう

●意見の概要

- ・コンパクトなまちの「ホッとする」イメージに愛着
- ・買い物や移動の利便性については課題
- ・「ホッとする」イメージを継承した上で「医療、健康」をテーマにしたまちづくりを推進
- ・「買い物や交通の利便性の向上」「子育てや高齢者支援機能の導入」「コミュニティの拠点の整備」「起業など新たなチャレンジのできる場づくり」に期待
- ・一体的整備により駅周辺全体で「みどり豊かな空間の確保」や「回遊性の向上」「街並みの調和の確保」を図ることに期待
- ・駅前施設に関しては、ロータリーの機能維持とショッピングセンターの更新に期待
- ・公園に関しては現在の規模や、平場と斜面地が混在する多様な地形、駅前立地の維持に期待
- ・病院に関しては、機能を維持したままの計画的な建替えに期待

第二回 藤が丘駅周辺のミライをみんなで考えるワークショップ(令和元年9月・計4回開催)

●第二回ワークショップのテーマ

- ① 再整備の考え方、再整備のイメージの良いと思ったところ、気になったところを確認しよう
- ② 駅周辺のミライのシーンやあったら良いと思う場を話し合おう

●意見の概要

【一体的なまちづくり】

- まちの可能性を引き出す、次世代を見据えた一体的な整備。病院の機能を維持した再整備

【まちのイメージ】

- 藤が丘らしい「ホッとする」まちの実現

【街並み、景観】

- ゆったりした歩道で、四季を感じるプロムナードの整備
- 高い建物の圧迫感が気になる

【みどり、公園】

- 公園とつながる、みどりに囲まれた病院が良い。公園だけでなく、駅前全体がみどりの空間になるところが良い
- 公園は今と同じ駅前の位置にできないか？
- 駅から公園への人の流れが気になる。公園の視認性・安全性が気になる

【利便性、商業】

- 歩いてショッピングを楽しんだり、飲食を楽しめるまちの実現
- 魅力的な店舗が集まり、みんなが集うショッピングセンターの実現
- 生活に必要な物が揃う便利なまちになってほしい。図書やアート、音楽など文化を感じるまちにしたい

【コミュニティ】

- 多世代が楽しく安心して過ごせる環境づくり。心地よく過ごせる居場所をつくりたい
- 誰もが過ごしやすいまちの実現。学生がまちで活躍する場づくり

【歩行者環境、移動】

- 歩行環境など駅前地区の回遊性の向上。交通広場の改修による利便性の向上
- デッキや歩道の整備によるバリアフリーの実現。駐輪場や駐車場の確保。駅とデッキを直結できないか？
- 交通の安全や防犯性の高い、安心して通行できる道の実現

4 再整備の基本的な考え方と整備方針

再整備の目標

オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した、藤が丘らしい駅前拠点の形成

再整備の基本方針

緑・オープンスペース 藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり

道路・交通 安全で快適な駅前交通環境の形成

にぎわい・安心 安心して健康なまちのモデルとなる駅前の機能集積と地域連携

再整備の考え方



土地利用等の方針

●建築物等の整備方針

○公園・病院街区

- ・病院機能の継続、高度急性期医療に対応した適切な規模の建物内の空間を確保するため、**土地の高度利用**(容積率400%・高さ60mを上限)を図る
- ・駐車場、公共駐輪場、生活便利施設等からなる**複合施設を病院に付属して整備**

○駅前街区

- ・今後の藤が丘駅周辺の**持続可能な成長に寄与**するよう、**多世代向けの住宅の導入**とともに交通広場、プロムナードに面する**建物低層部に生活利便機能や文化・地域交流機能を導入**し、新たな駅前の顔として建替えによる**高度利用**(容積率400%・高さ45mを上限)を検討



<鳥瞰イメージ(北東側より)>

○沿道街区

- ・建物の1階部分は、誘導すべき用途を定め、**既存の商店会のにぎわい機能の維持・向上**
- ・利便性向上を目指しながら、にぎわい軸の良好な景観やにぎわいづくりに配慮した共同化・建替えを誘導

※現時点のイメージであり、今後の協議・検討状況により内容が変更になる場合があります

藤が丘駅前地区における景観形成について

(昭和大学藤が丘病院)

横浜市都市美対策審議会 景観審査部会 審議資料
2020年 6月29日

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。

I. 都市計画段階

II. 設計段階

【目的】
再整備基本計画(素案)に関する内容の共有
地区計画に定める形態意匠制限に関する内容の審議

【審議の内容】
・景観形成の方針(病院のファサードデザイン、ランドスケープ等)

都市計画段階①(本日)

- 開発全体の整備方針(ネットワーク、広場等の配置等)
- 計画概要、再整備のイメージ
- 景観形成の方針

都市計画段階②

- 形態意匠の制限案

【目的】
病院設計における地区計画の形態意匠制限の認定に関する審議

【審議の内容】
・病院の設計段階における計画
(ファサードデザイン、ランドスケープ、色彩・素材、照明・サイン等)

- 病院のファサードデザインの計画
 - ・高層部
 - ・低層部
- 病院のランドスケープの計画
 - ・北側広場(にぎわい軸の形成)
 - ・西側広場(駅前方面)
 - ・南側広場
 - ・東側(公園等に向けた表情)
- 病院の色彩・素材の計画
- 病院の照明・サインの計画

形態意匠制限に関する審議

病院設計における認定に関する審議



※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

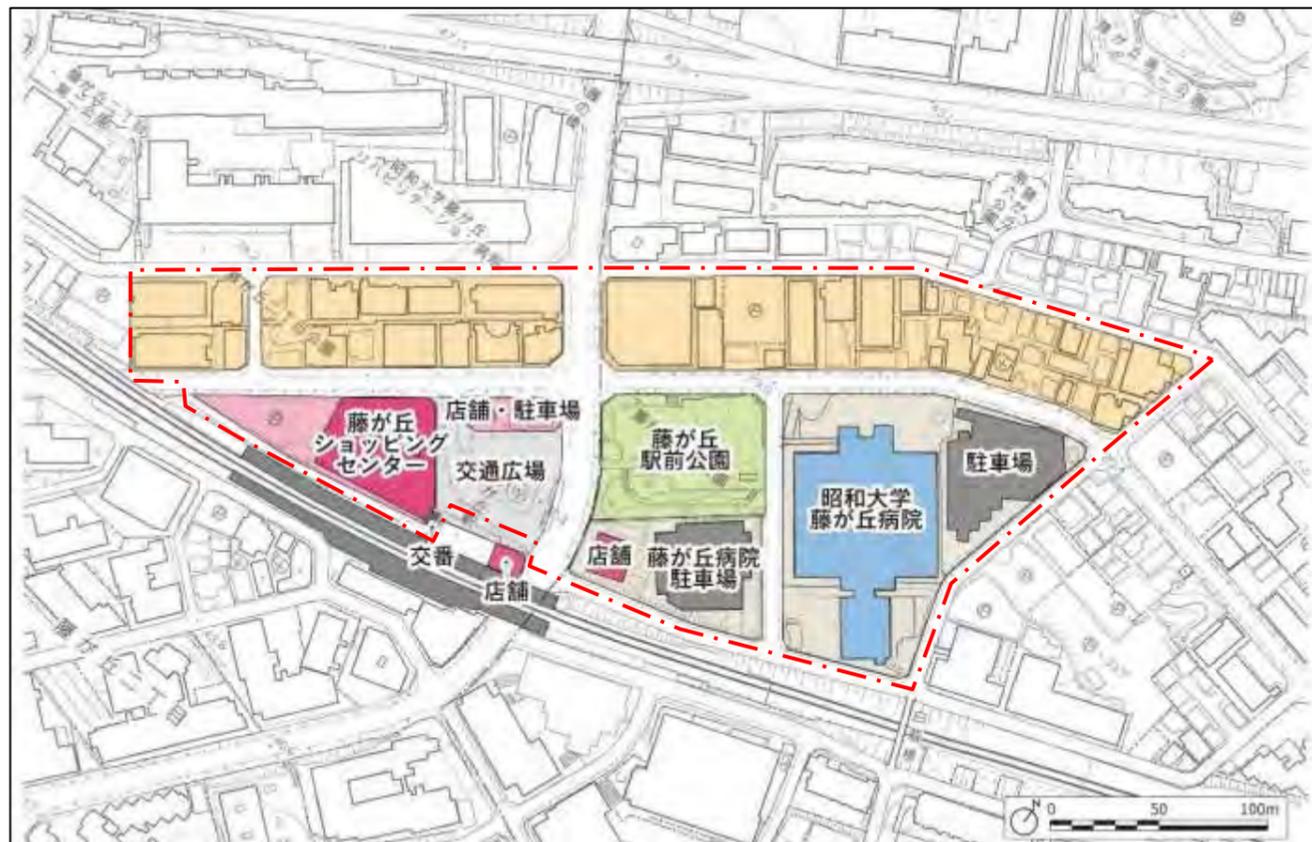
計画概要

■ 計画概要

計画地	神奈川県横浜市青葉区藤が丘一丁目、二丁目他	
計画建物	病院 ※審議対象	商業・住宅
地域地区	第二種・第一種住居地域／準防火地域	近隣商業地域／防火地域
指定容積率	200%	300%
計画容積率	約400%	約400%
基準法上の建物高さ	約60m	約45m
敷地面積	約16,500㎡	約3,800㎡
延べ面積	約77,900㎡	約17,300㎡
主要用途	病院(584床)・店舗等	住宅(約170戸)・商業施設
階数	地上13階+棟屋・地下2階	地上13階・地下1階
駐車等台数 (付置義務駐車場を含む)	自動車/約300台	自動車/約60台

※計画概要については、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

■ 現況/位置図



■ 計画/イメージスケッチ (北東から)



■ 計画/配置図



※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

再整備のイメージ



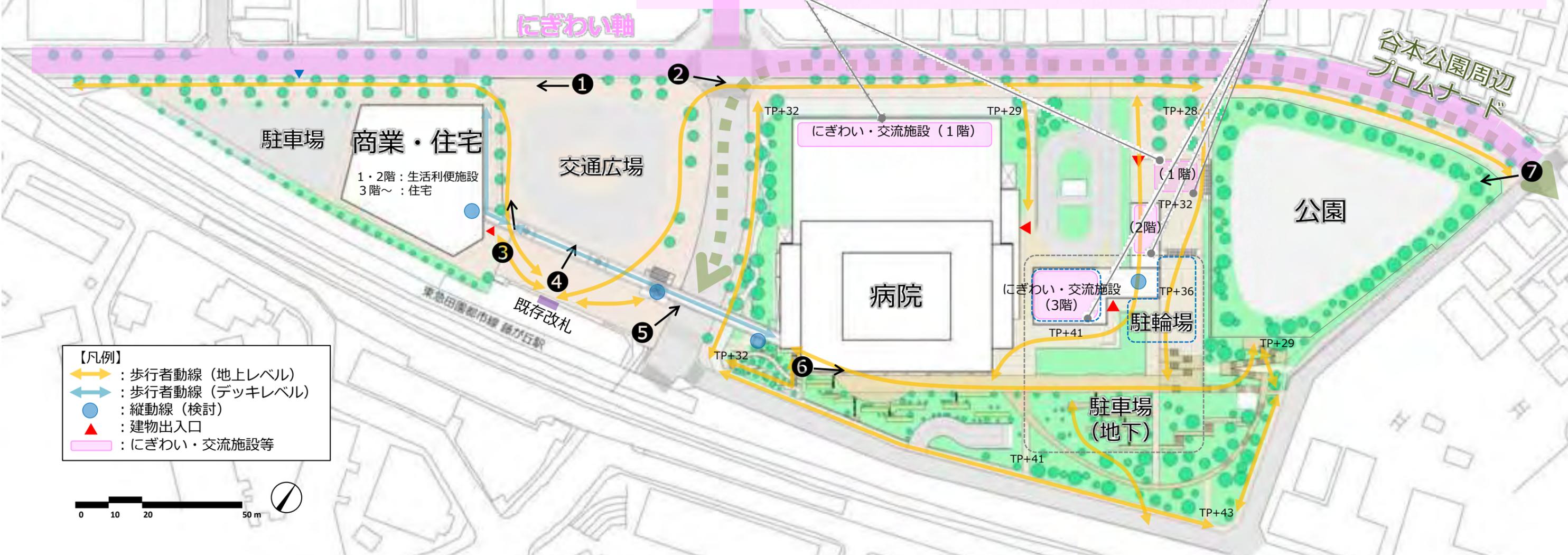
にぎわい・交流施設のイメージ



にぎわい軸沿道は、ゆとりのあるオープンスペースと一体的に賑わいを創出する飲食店などを配置し、日常的に人々が憩える機能を配置



・公園に面する場所には、子供からお年寄りまでが集う、健康増進やコミュニティの形成に資する機能を配置
 ・公園・広場の地形に呼応した施設の配置により、建物屋上との一体的なオープンスペースの活用も想定



※使用している写真はあくまでイメージです。

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

イメージスケッチ(北東側より)

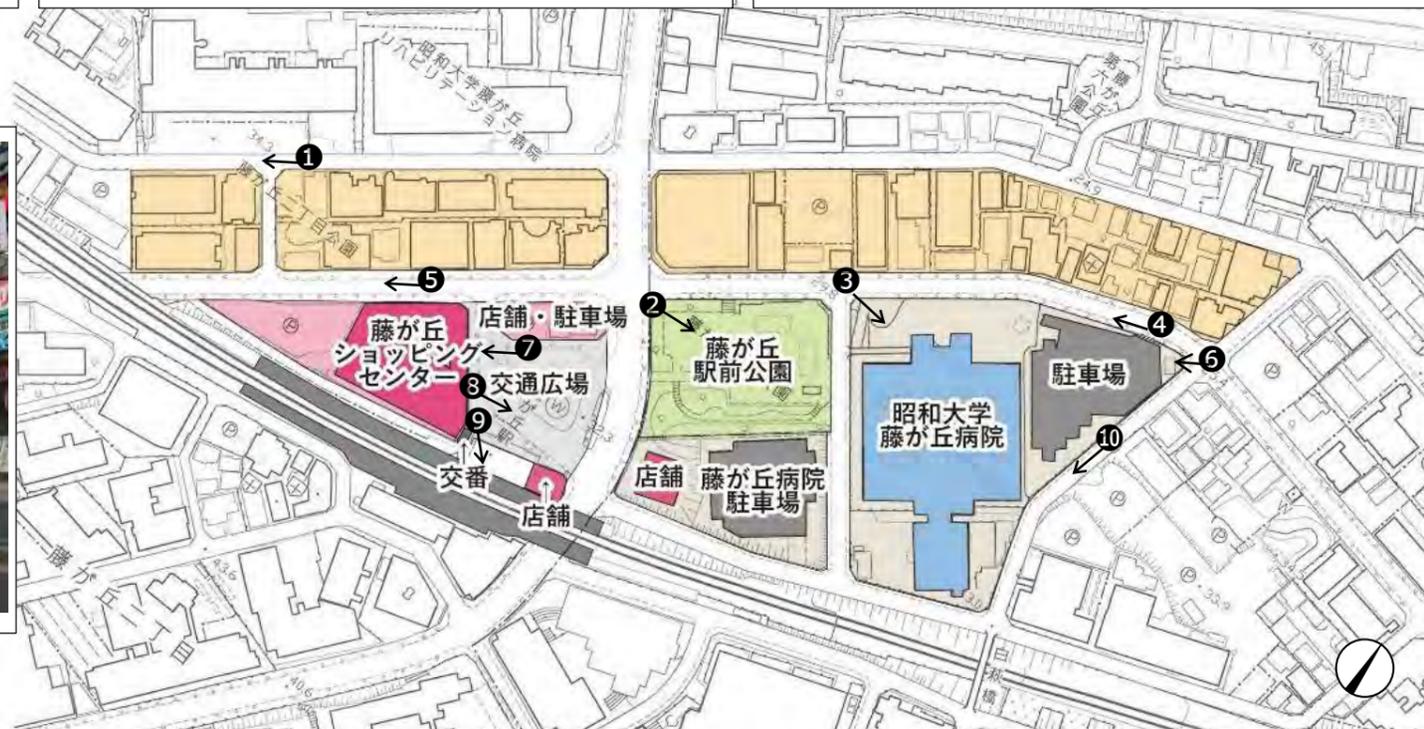


※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

イメージスケッチ(南西側より)



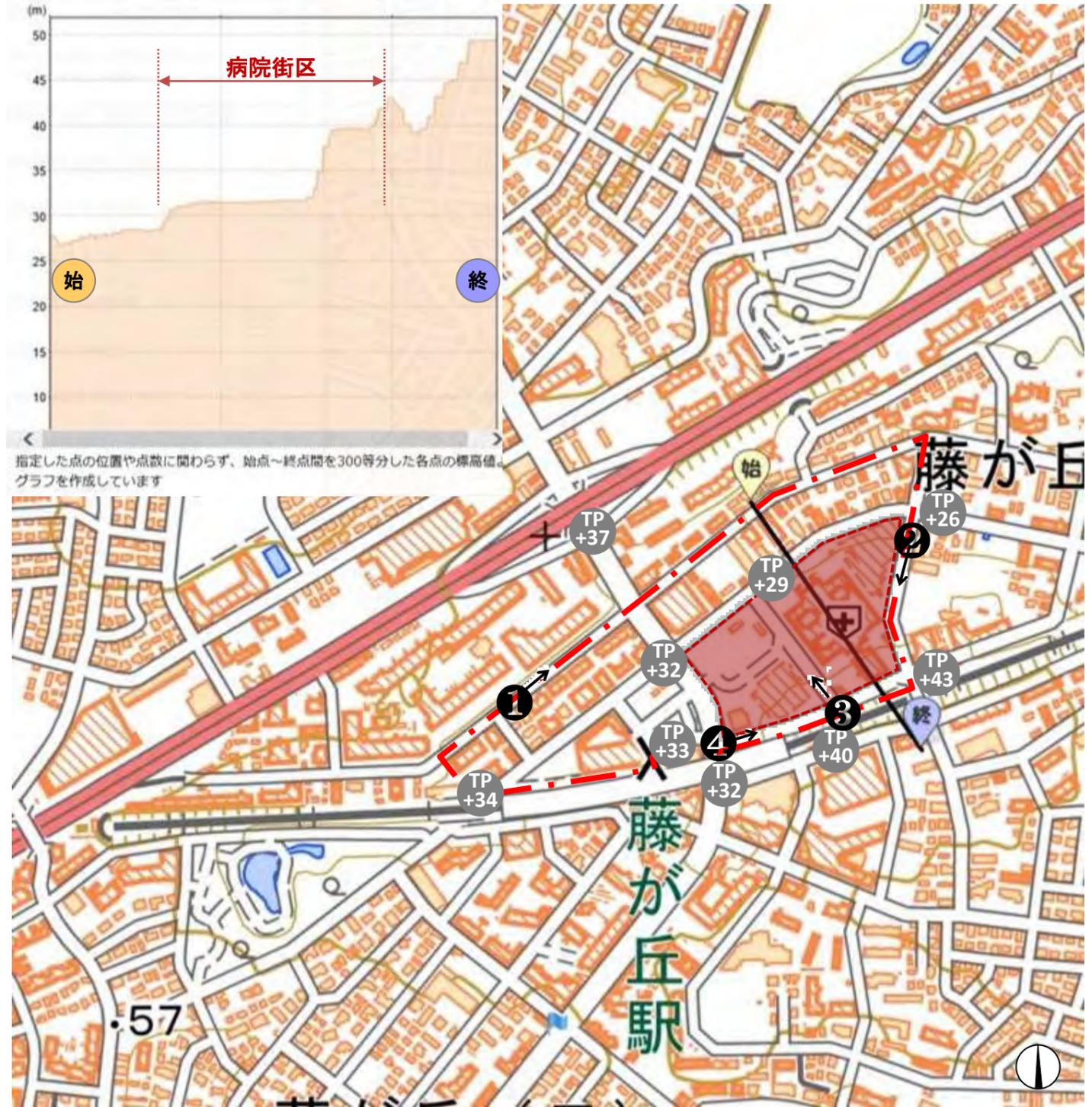
※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。



※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

● 周辺市街地と駅前との地形の高低差

- ・ 藤が丘駅周辺は、全体的に緩やかな谷戸状の地形から形成されており、本地区は低地にあたる部分にあります。
- ・ 特に病院街区付近の地形の高低差が大きくなっており、病院街区北東端で(TP25.7)、交通広場北側交差点付近で(TP31.4)、最も高い病院街区南東角で(TP43.3)で、病院街区外周部で最大約18m程度の高低差がみられます。





※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

藤が丘駅前地区における景観形成について

藤が丘駅前地区における
景観形成のコンセプト

豊かな緑に包まれたまちに憩いや安らぎが感じられる景観づくり

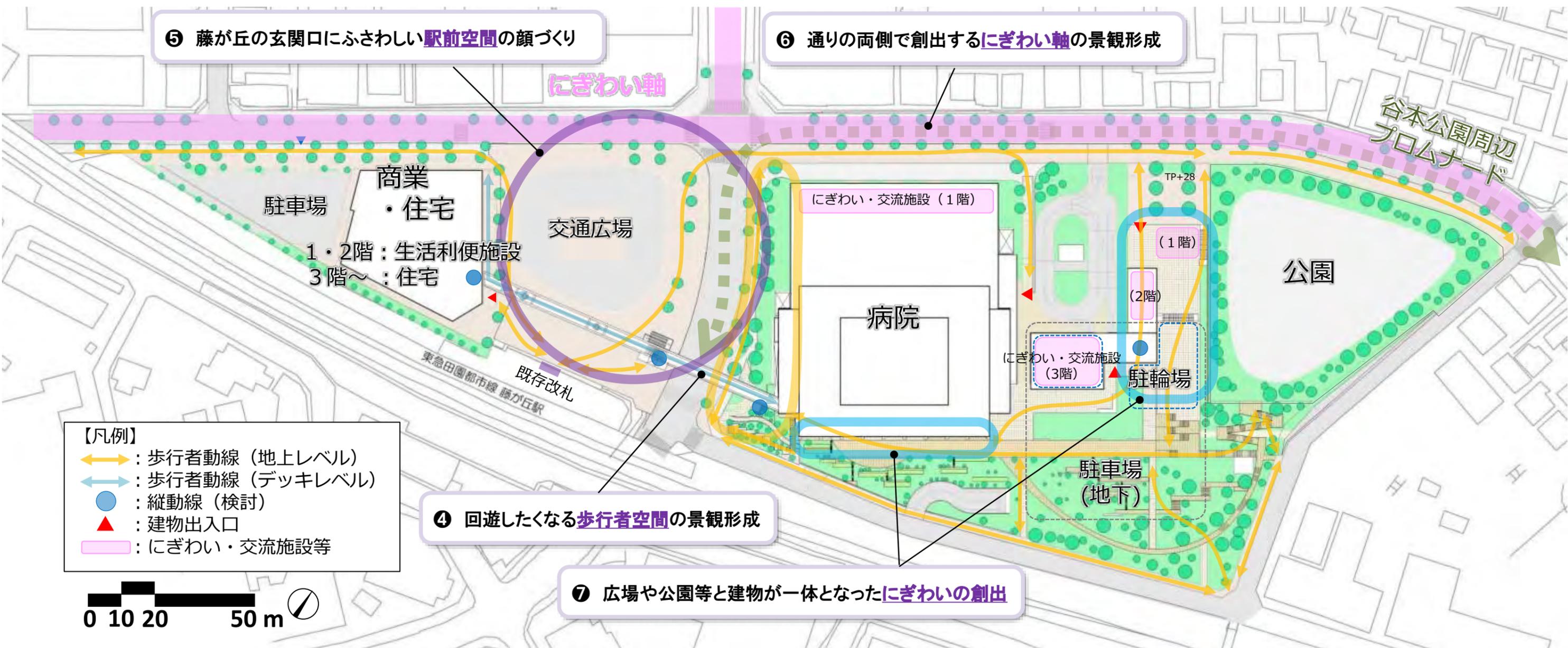
① 周辺市街地に配慮した**建物配置**

② 場所ごとに特色のある**多様な広場**空間の形成

③ **豊かな緑**が感じられ、自然の地形を生かした空間の形成

⑤ 藤が丘の玄関口にふさわしい**駅前空間**の顔づくり

⑥ 通りの両側で創出する**にぎわい軸**の景観形成



- 【凡例】
- ↔ (Yellow): 歩行者動線 (地上レベル)
 - ↔ (Blue): 歩行者動線 (デッキレベル)
 - (Blue): 縦動線 (検討)
 - ▲ (Red): 建物出入口
 - (Pink): にぎわい・交流施設等



④ 回遊したくなる**歩行者空間**の景観形成

⑦ 広場や公園等と建物が一体となった**にぎわいの創出**

⇒これらの7つのテーマを考慮し、形態意匠の制限に反映させていきます。

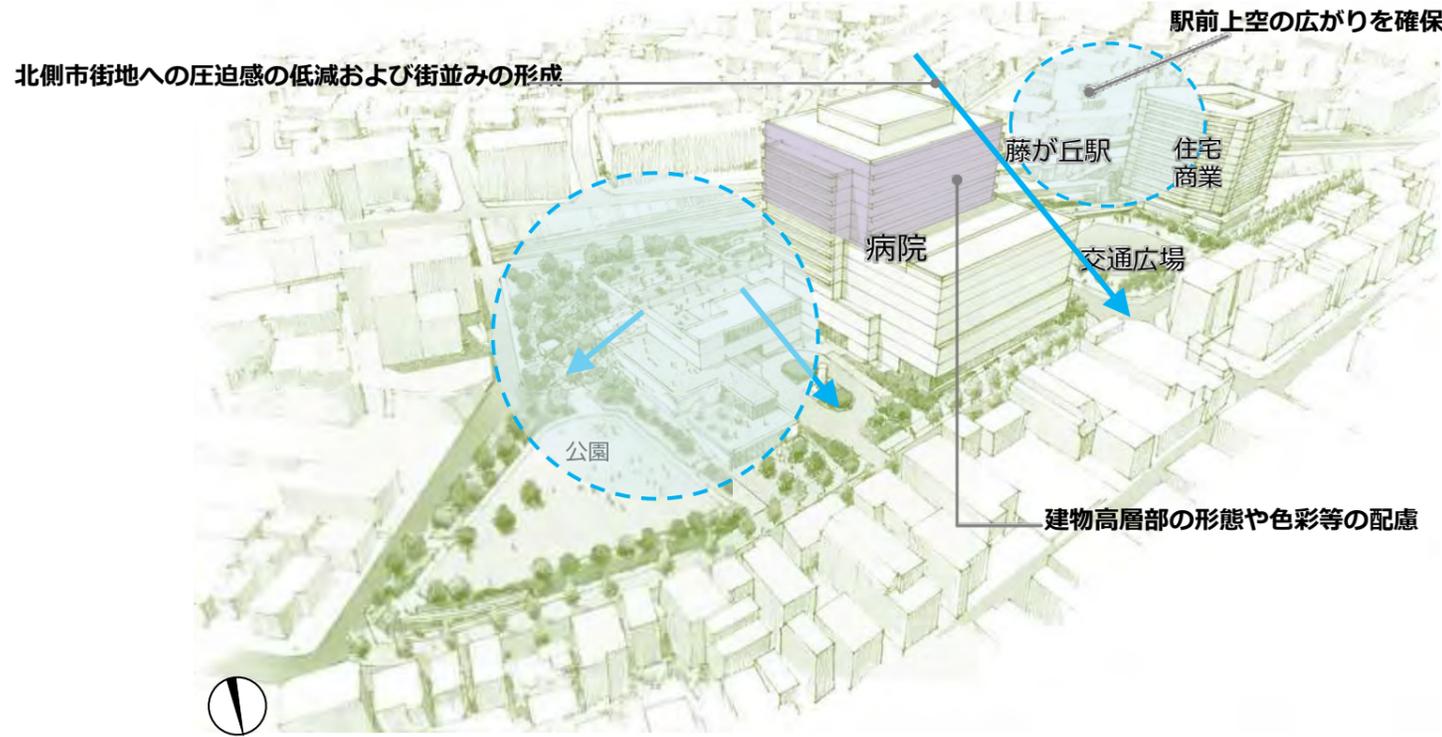
※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

景観形成の方針： ① 周辺市街地に配慮した建物配置

景観形成の配慮事項

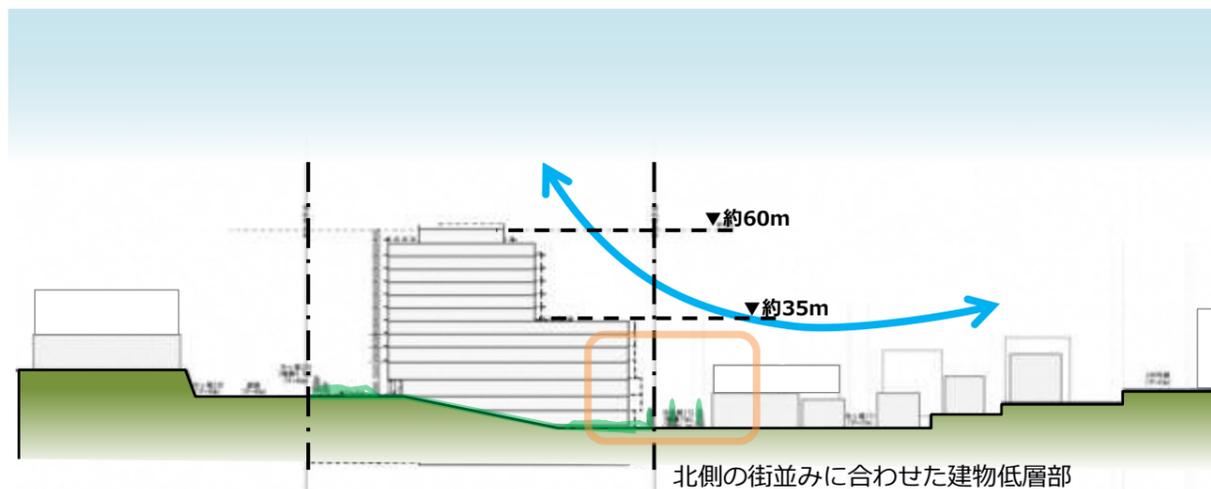
- 遠くから見ても、緑豊かな藤が丘の街になじむよう、建物高層部については形態や色彩等に配慮します。
- 駅前上空の広がり確保するとともに地形や高低差を考慮し、特に交通広場、東側住宅地・北側市街地への圧迫感を軽減するよう、建物の配置計画や形状を工夫します。

周辺市街地に配慮した建物配置：鳥瞰イメージ（北東側より）



北側市街地への圧迫感の低減および街並みの形成

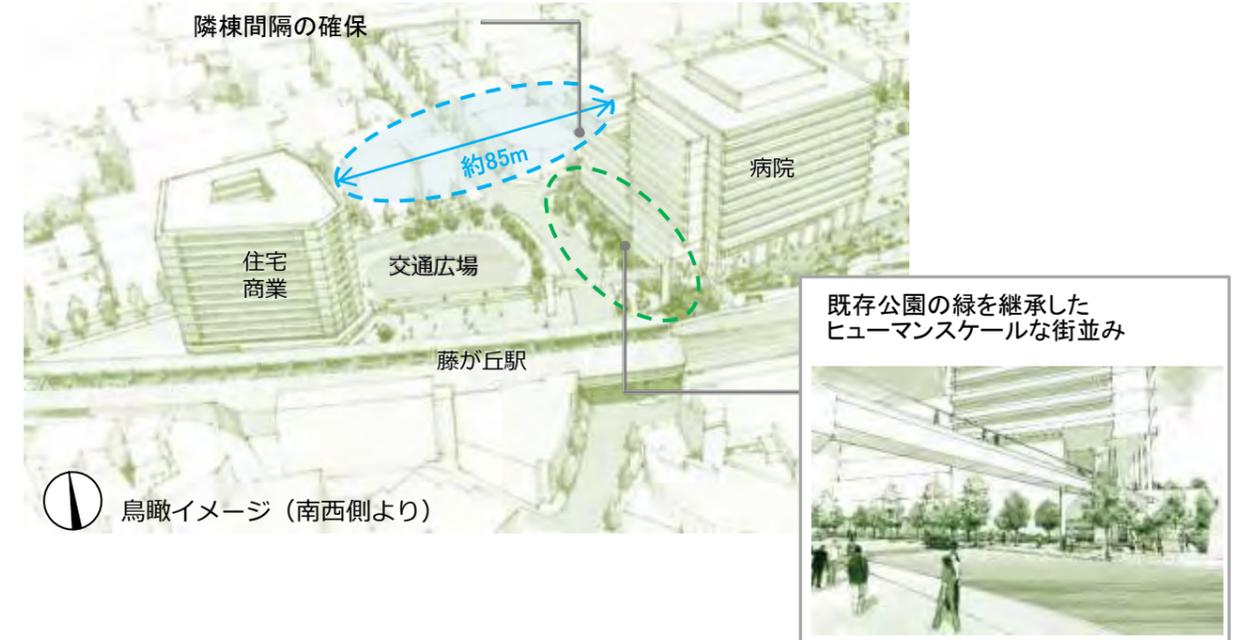
- 北側市街地に配慮し、周辺の街になじむ建物高層部のボリューム配置を行います。
- 北側の街並みに合わせた建物低層部の高さに配慮します。
- 建物の足元にヒューマンスケールな緑を配置します。



駅前上空の広がり確保

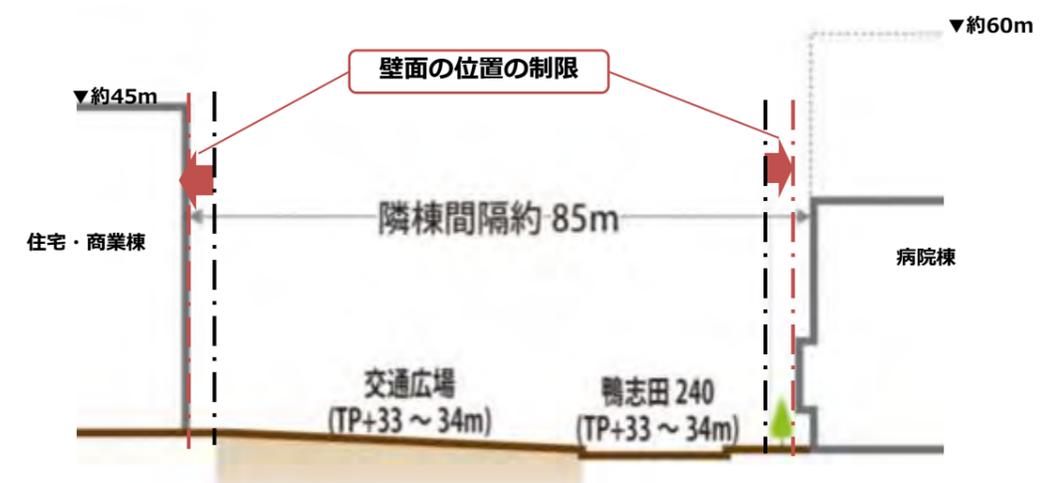
- 建物を集約的に配置することで、周辺市街地に対しまとまりある上空の広がり確保します。
- 駅前空間の圧迫感軽減のため、建物の壁面後退と合わせて、隣棟間隔を確保し、足元の広場空間を確保し、ヒューマンスケールな街並みを形成します。

交通広場と建物ボリュームの関係



鳥瞰イメージ（南西側より）

駅前空間の圧迫感軽減



※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

- 病院棟の高層部は、分節された凹凸のあるボリュームにより圧迫感を軽減する
- 中低層部は暖かみのある素材を用い、スリットや開口部による細かい分節を行い公園の緑と調和

イメージ



■駅前空間・病院南側広場に向けた顔づくり



高層部は角を落とし柔らかい印象の形状とすることで広場の風景と調和

イメージ



病院低層部のファサードは熱反射ガラスを用いることで、敷地内の緑と街路樹が映り込み、歩行者からの緑の視認性を高め、藤が丘らしい緑に囲まれた駅前空間を演出する

イメージ



- 高さを確保し大きく開放された明るいピロティ
- 内部と緩やかにつながるファサード

イメージ



高層部(病棟)と中低層部のボリュームを分節してセットバックさせることで病院のスケールを抑え公園のスケールと調和

イメージ



■公園・にぎわい軸に向けた顔づくり

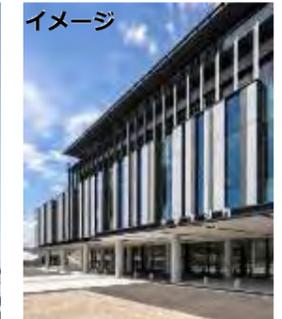


- 緑との調和を意識した素材の選定や公園につながる空間として単調なデザインとはせず分節等を検討
- 開口部の無い外壁面は適切に分節することで周辺の風景と調和

イメージ



イメージ



病院エントランスは緑を周囲に配置し、開放的な印象とする

イメージ



- 建物機能に応じながらガラス面をとり、緑が映り込む軽快なファサード
- 通りや公園から見える景観に適した、内部のにぎわいがにじみ出るファサード

イメージ



イメージ



景観形成の方針： ② 場所ごとに特色のある多様な広場空間の形成

景観形成の配慮事項

隣接する施設の用途等に合わせた、様々な特徴の異なる広場の景観を形成します。

■ 駅前地区全体で人々が憩い・安らげる多様な広場を創出

- 地区全体で、公園や歩道と一体的な設えの広場や緑地の緑豊かな空間を確保し、幅広い利用者が楽しみ、居心地の良さが感じられる多様な「ホッとする居場所」を創出します。

来院者・公園利用者・地域住民など、多様な人々が交流する場にぎわい・交流施設と一体的に利用できる日当たりの良い開放的な広場や緑の中の散策路を創出（広場1）



屋外健康イベントなどにぎわい・交流施設と一体的に使用できる空間のイメージ
緩やかな傾斜で寝そべり開放的な空や緑を楽しめる憩いの空間イメージ



健康増進に寄与する起伏を利用したアップダウンのある散歩道のイメージ

来院者・公園利用者など、多様な世代が緑や花に触れあい、散策も楽しめる落ち着いた空間を創出（広場2）



車椅子の人でも散策を楽しめる庭園のイメージ



病院利用者が気軽に広場の緑を楽しむことができるピロティのイメージ

駅利用者や商業施設の利用者を連続的な緑の設えによりにぎわい軸へと導く、快適な歩行空間を創出（広場7）



快適な歩行者空間に寄与するヒューマンスケールな緑で囲まれた駅前空間のイメージ

賑わい軸沿道は広場を歩道と一体的に整備し、ゆとりのある空間とすることで、来院者や地域の人々が日常的に憩える空間を創出（広場5・6）



気軽に立ち寄り、ベンチ等で一息つきながら通りの賑わいや緑を楽しむことができる沿道空間のイメージ

駅利用者を病院や公園へ導く連続的な緑の設えにより、潤いある歩行空間と駅前の景観を創出（広場3）



快適な歩行者空間に寄与するヒューマンスケールな緑で囲まれた駅前空間のイメージ



駅前でありながら園路のような設えで緑を感じられる歩行者空間のイメージ



<多様な広場空間>

公園利用者や地域の人々が集う、公園に面する活動・交流・休憩のための多目的な広場を創出（広場4）



地域のお祭りやイベントなどにも活用でき、通りの賑わいに開かれた開放的な広場のイメージ

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

景観形成の配慮事項

- ・ 視線のつながりを意識し、散策路や憩いのオープンスペースを彩る緑が一体的に繋がり、場所ごと、時季ごとに多様な表情のある緑が随所に感じられる景観とします。
- ・ 地形による高低差を生かし、立体感や奥行きのある緑の景観を形成します。
- ・ これまで区民に親しまれてきた街路樹等の既存樹を生かし、新しい中にも馴染みのある緑空間とします。

緑の配置計画

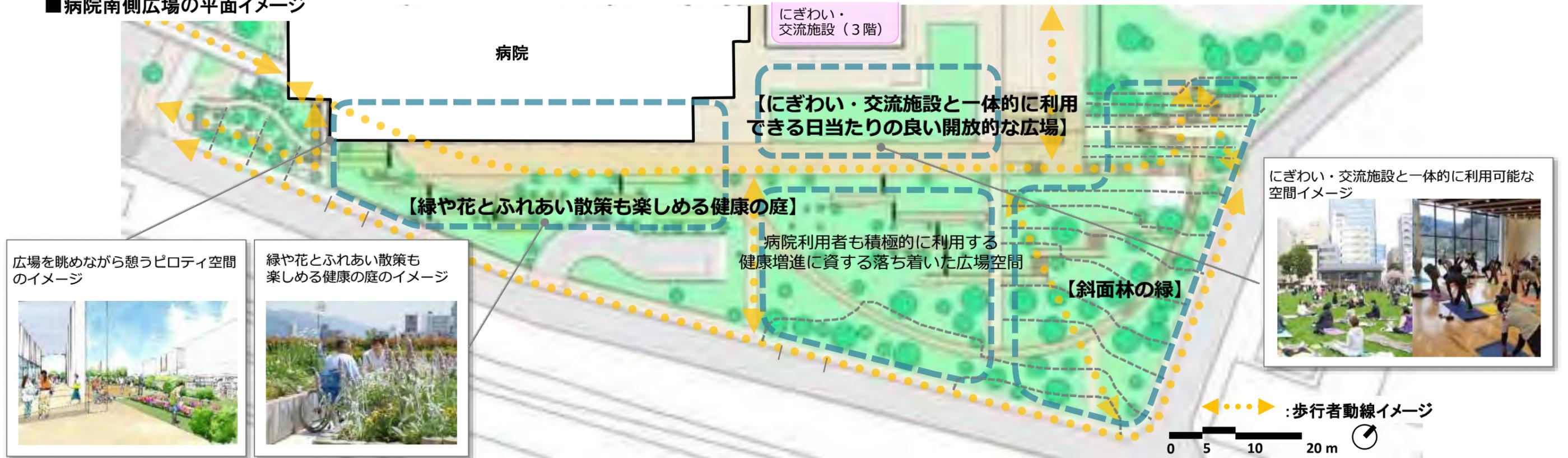


※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

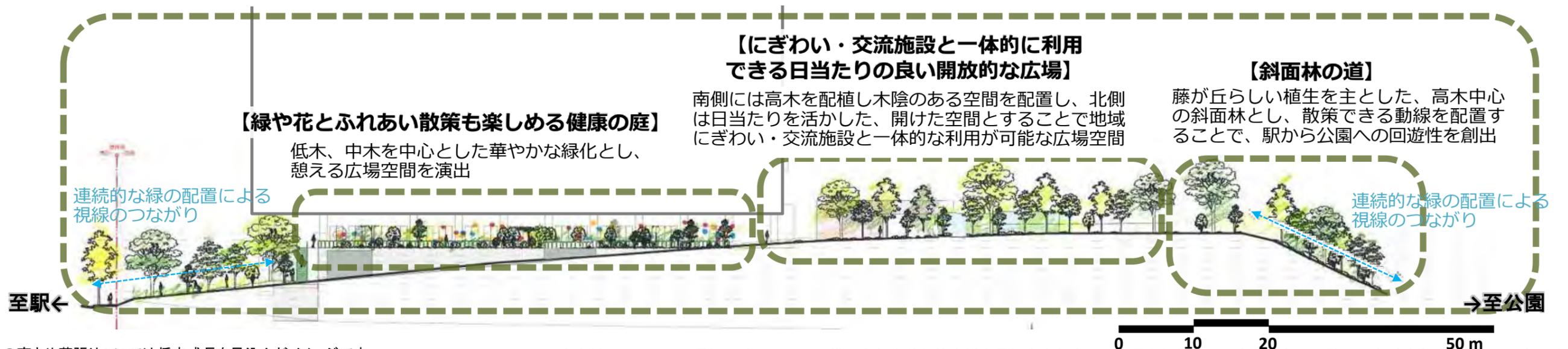
健康増進に資する落ち着いた病院南側の広場空間

- ・ 視線のつながりを意識し、駅前空間と公園を結ぶ連続的な広場や散策路をネットワークさせ、地形的な特色や隣接する建物の機能に応じた多様な居場所を創出します。
- ・ 日当たりの良さや、広がりのある平坦な地形を活かし、庭園や散策路などを中心とした、病院利用者も積極的に利用する健康増進に資する落ち着いた広場空間を目指します。
- ・ 屋外での地域活動など、隣接して整備するにぎわい・交流施設と一体的な利用を想定した広場とします。
- ・ 病院のピロティ空間は広場を眺めながら憩える空間として整備するなど、広場と一体的な利用を図ります。

■病院南側広場の平面イメージ



■立面イメージ 線路側からみた病院南側広場



※樹木の高さや葉張りについては将来成長を見込んだイメージです。

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

駅前公園の表情を継承する緑豊かな広場空間

- 南北に連続した豊かな緑を確保することで、現在の駅前から既存公園の緑の景観を継承した、ヒューマンスケールな街並みを目指します。
- 北西角、南西角にはまとまりのある緑を配置し、散策空間と一体となった緑地空間により、緑の連続性を作り、駅前からの緑豊かな景観を演出します。

北西角のシンボルとなる豊かな緑

- 街角のシンボリックな緑化空間として、厚みのある緑を感じる植栽

ヒューマンスケールな街路を演出する華やかな緑

- 自然に人の目の高さで緑が見えるような低木、中木を中心とした緑化空間
- 街路を彩る華やかな沿道空間を演出



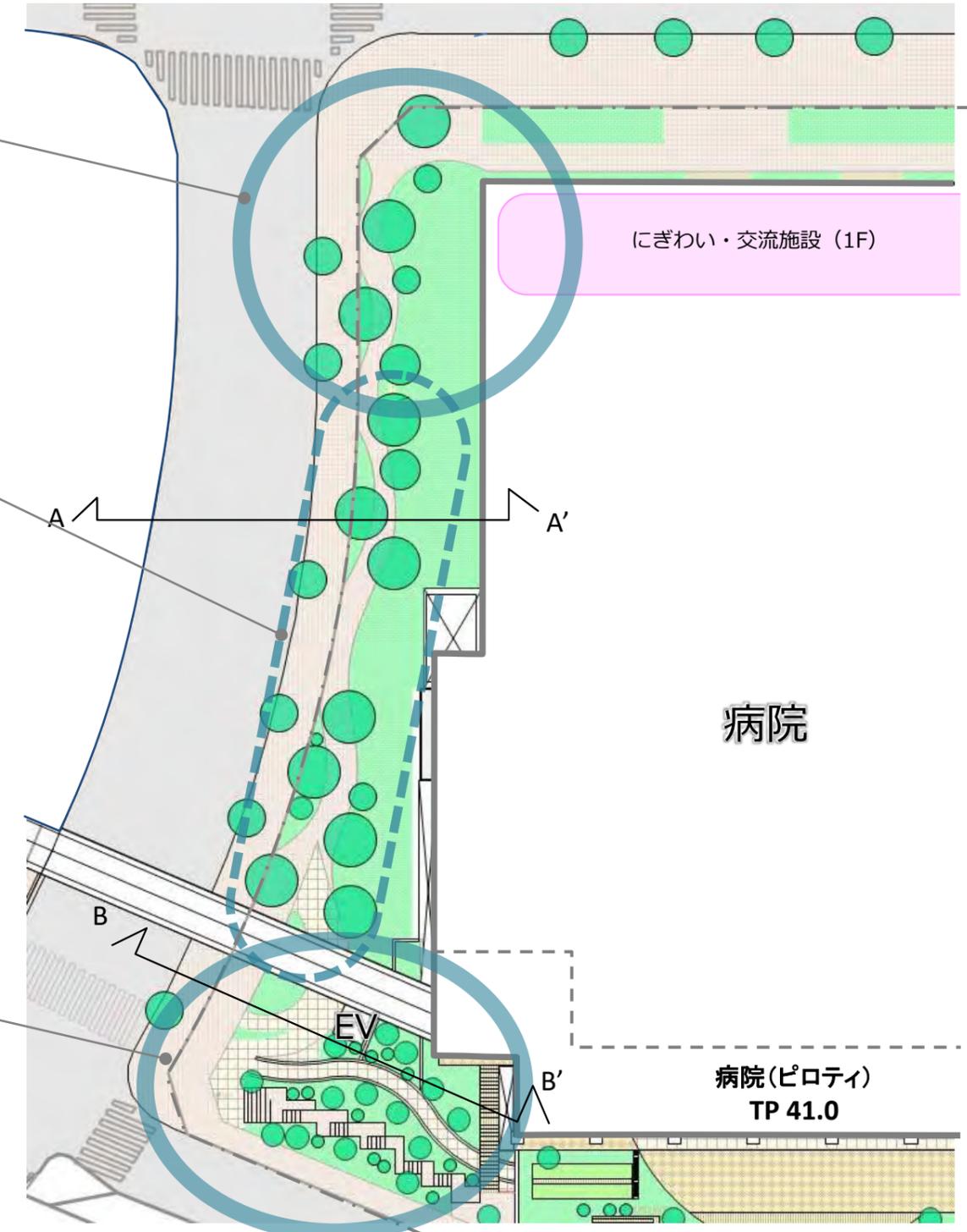
南側広場につながる奥行きのある緑

- 公園につながる病院南側広場に人々を誘導する導入部として相応しい緑化空間
- 地形や建築の高低差を活かして、立体的で奥行きある緑化空間



<緑豊かな広場空間のイメージ>

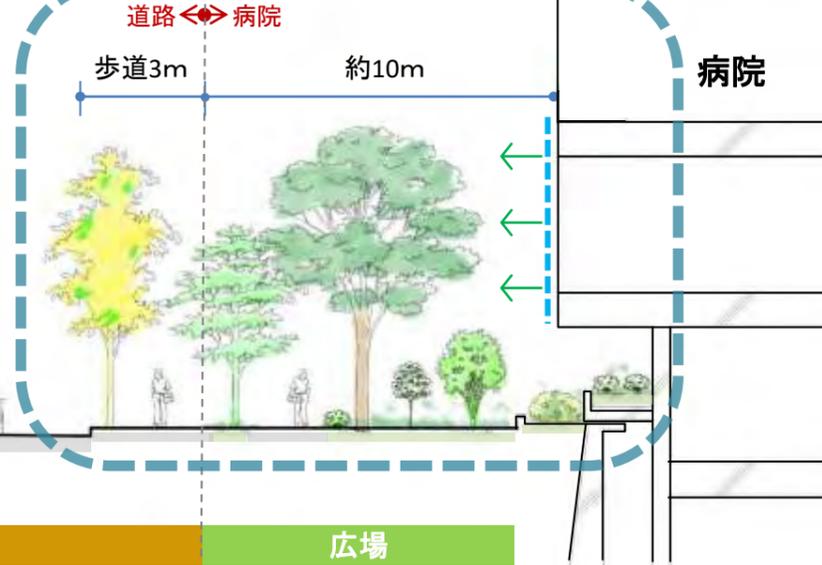
■ 平面イメージ



■ A-A'断面イメージ

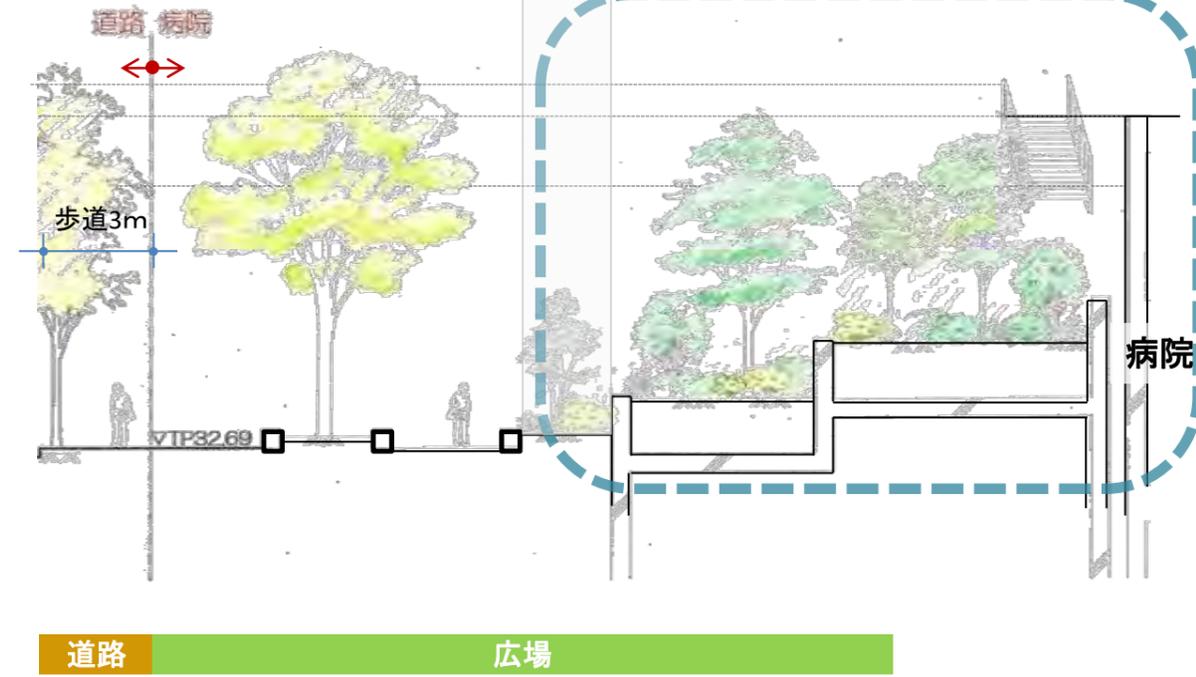
ファサードに熱反射ガラス等を用いることで、敷地内の緑と街路樹が映り込み、歩行者からの緑の視認性を高め、藤が丘らしい緑に囲まれた駅前空間を演出する

駅前広場



■ B-B'断面イメージ

【南側広場につながる立体的で奥行のある緑】

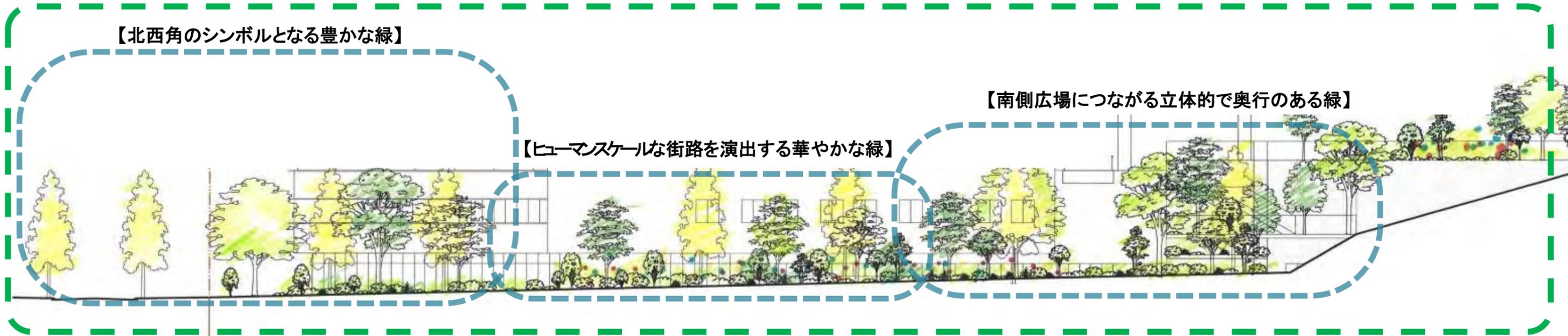


■ 立面イメージ（病院棟西側） 連続性のある一体的な緑化空間

【北西角のシンボルとなる豊かな緑】

【ヒューマンスケールな街路を演出する華やかな緑】

【南側広場につながる立体的で奥行のある緑】



0 5 10 20 m

※樹木の高さや葉張りについては将来成長を見込んだイメージです。

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

景観形成の方針： ④ 回遊したくなる歩行者空間の景観形成

景観形成の配慮事項

- ・ バリアフリーに配慮した歩行者空間を地区内で繋げ、緑やにぎわいにより自然と歩きたくなるような景観形成を行います。特に病院西側の広場は、公園につながる広場への導入部として、人々を導く景観を形成します。
- ・ 駐車場を地下に配置するとともに、駐車場出入口も歩行空間の連続性に配慮した設えとします。

自然と歩きたくなるような景観形成

- ・ 歩行者デッキの整備、道路の廃道・歩道への付替えや駐車場の地下化により、地区を回遊する安心安全な歩行者動線を創出します。
- ・ 地区全体でホッとする空間や潤いある多様な広場空間、にぎわい・交流施設の配置など、多様な目的の空間が歩きたくなるまちを演出します。
- ・ 駅前空間から立体的なバリアフリー動線を確保し、駅前の立体的な人の動きを見せるとともに、安全で楽しく歩ける歩行者ネットワーク・にぎわい創出の起点を演出します。
- ・ 歩道と一体的に整備した広場によるゆとりある歩行者空間の確保と、沿道の緑や適切な位置に配置するベンチ等により地区全体が園路のような健康増進に資する回遊ルートを形成します。

■ 駅前と公園をつなぐ回遊動線



※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

景観形成の方針： ⑤ 藤が丘の玄関口にふさわしい駅前空間の顔づくり

景観形成の配慮事項

- 街路樹と敷地内の緑が連坦し、緑に囲まれた駅前空間を形成します。
- 交通広場と隣接する敷地内の広場の外構の設えや広場に面する病院や商業・住宅の建物低層部との調和を図る等、一体的なまとまりある駅前空間を形成します。

開放的な駅前空間の形成

※交通広場の計画について、交通管理者との協議の上、進めて参ります。

駅前に広がりある空間を確保

- 既存の交通広場内の建物を撤去し、視線のつながり、歩行環境の改善、溜まり空間の確保をすることで、藤が丘らしい開放的に感じられる空間の形成を目指します。
- 隣接する建物間の十分な隣棟間隔を確保し、建物による圧迫感の軽減を図ります。



ホッとできる居場所のある公園のような駅前空間のイメージ

交通広場と隣接敷地の一体的な景観形成

- 敷地内の植栽や広場空間等の外構の設えとの調和を図り、駅前空間の一体的な街並みを創出します。
- 建物低層部においては、駅前に開口部を設けるなど開放的な空間の演出に努めるとともに、素材や色彩など、広場空間との調和を図ります。



交通広場と隣接敷地の調和のイメージ



緑に囲まれた駅前空間の形成

- 改札から出て目につきやすい位置に藤が丘の良好なイメージを印象づける緑化空間を配置します。
- 街路樹や隣接する敷地と連坦し緑に囲まれた駅前空間の形成を目指します。



出典：横浜市HP



緑に囲まれた空間のイメージ 出典：http://landezine.com

駅前空間の人の流れや視線のつながりを意識した歩行者デッキのデザイン

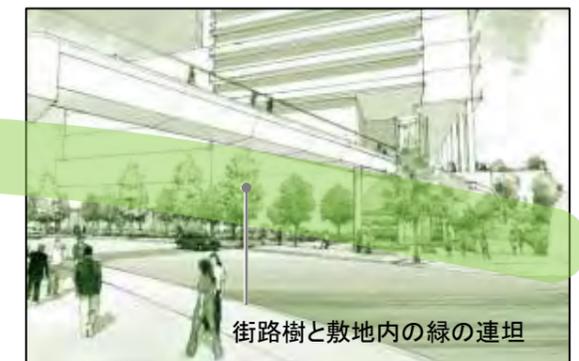
- 病院と商業・住宅の両街区を物理的につなぐだけでなく、駅前地区の一体的な景観を形成するためのデザインをつなぐ景観要素として捉え、街のネットワークの起点となるよう計画します。
- 駅前から見上げた時に空をなるべく遮らないよう、抜け感のあるデザインとし、桁下や側面についても視線の抜けに配慮し、閉鎖的にならないような構造を検討します。
- 街路樹や各敷地内の緑との調和や建物低層部との素材・色彩等の調和を図ります。



交通広場と隣接敷地内の外構の設えや建物低層部との調和
街路樹と敷地内の緑の連坦
＜①商業・住宅の駅側の低層部イメージ＞



街路樹と敷地内の緑の連坦
＜②藤が丘駅改札口前からのイメージ＞



街路樹と敷地内の緑の連坦
＜③病院の駅側の低層部イメージ＞

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

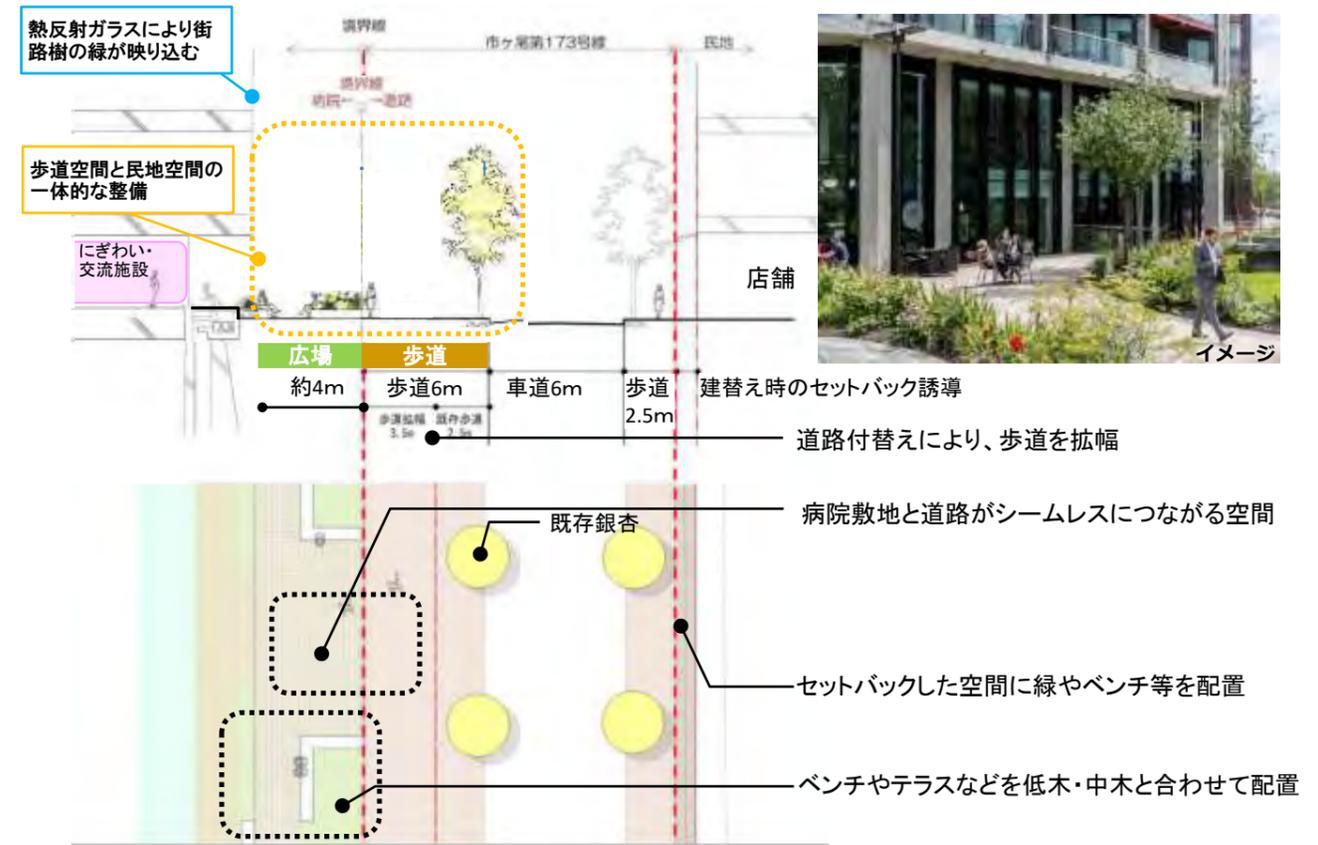
景観形成の方針： ⑥ 通りの両側で創出するにぎわい軸の景観形成

景観形成の配慮事項

- にぎわい軸沿いに広場やにぎわい・交流施設等を配置し、通りのにぎわいが表出する景観とします。
- 歩道空間と民地空間を一体的に整備し、歩行者が歩きやすく、憩える空間を創出します。
- 既存の銀杏並木を生かした緑を配置、シンボルとなる街路景観を形成します。

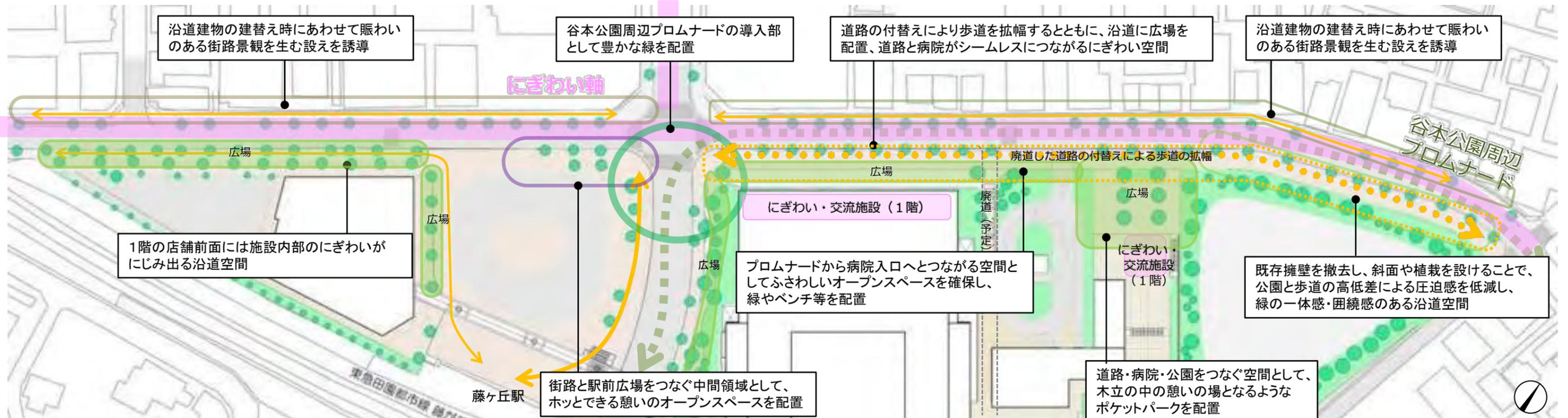


■にぎわい軸沿道の歩道空間と民地空間の一体的な整備イメージ



にぎわい軸全体の景観形成イメージ

- にぎわい軸沿いに歩道と一体的な広場や緑地を設けることで、散策しながら、緑の豊かさが感じられる地域のシンボルとなる空間形成を図ります。
- にぎわい軸を形成する道路沿道では、店舗等のにぎわい・交流施設や溜まり空間を設ける等、歩行者がにぎわいのある空間を楽しみながら憩い、安らげるような空間形成を図ります。
- 沿道建物の建替えにあわせて、低層部の機能や建築物のセットバック等による溜まり空間等を誘導します。



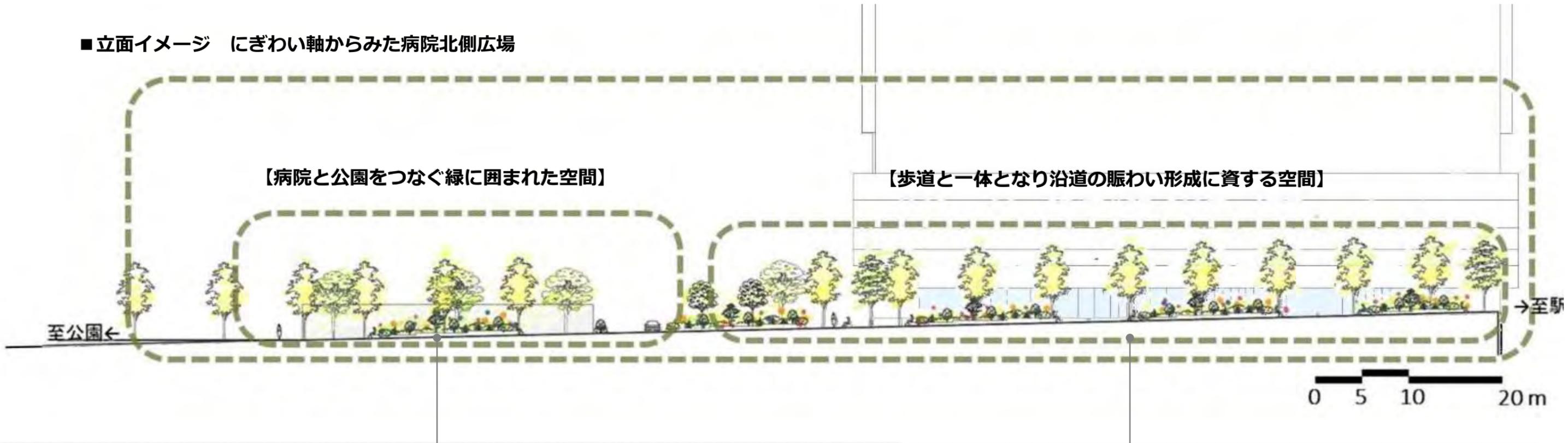
※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。

病院敷地におけるにぎわい軸の景観形成イメージ

- 既存の銀杏並木に対して低木や中木を中心とした緑化空間とし、ゆとりのあるオープンスペースを連続させます。
- にぎわい・交流施設前面はベンチ等を設置して日常的に人々が憩える空間とし、公園と隣接した広場はイベント時（お祭り等）の利用も考慮した空間とすることで、にぎわい軸の景観を形成します。

※樹木の高さや葉張りについては将来成長を見込んだイメージです。

■ 立面イメージ にぎわい軸からみた病院北側広場



【病院と公園をつなぐ緑に囲まれた空間】

高木による植栽配置し、足元は公園との一体活用や、にぎわい施設からのにじみ出しのある、木陰のある広場空間とします。



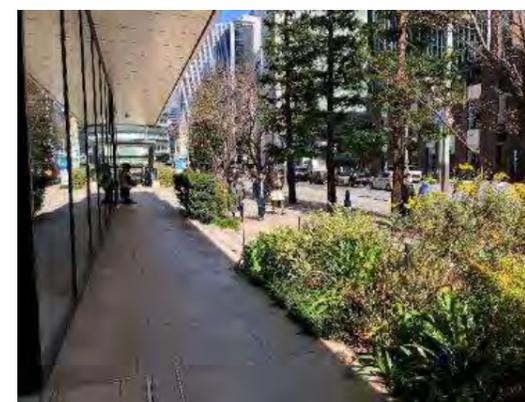
病院と公園をつなぐ緑に囲まれた空間のイメージ（右：イベント時のイメージ）



既存の藤が丘駅前公園を活用したイベント

【歩道と一体となり沿道の賑わい形成に資する空間】

ベンチやテラスなどを低木、中木と合わせて配置し、高木も織り交ぜて配植することで、にぎわいのある緑化空間を目指します。



歩道と一体となり沿道の賑わい形成に資する空間のイメージ

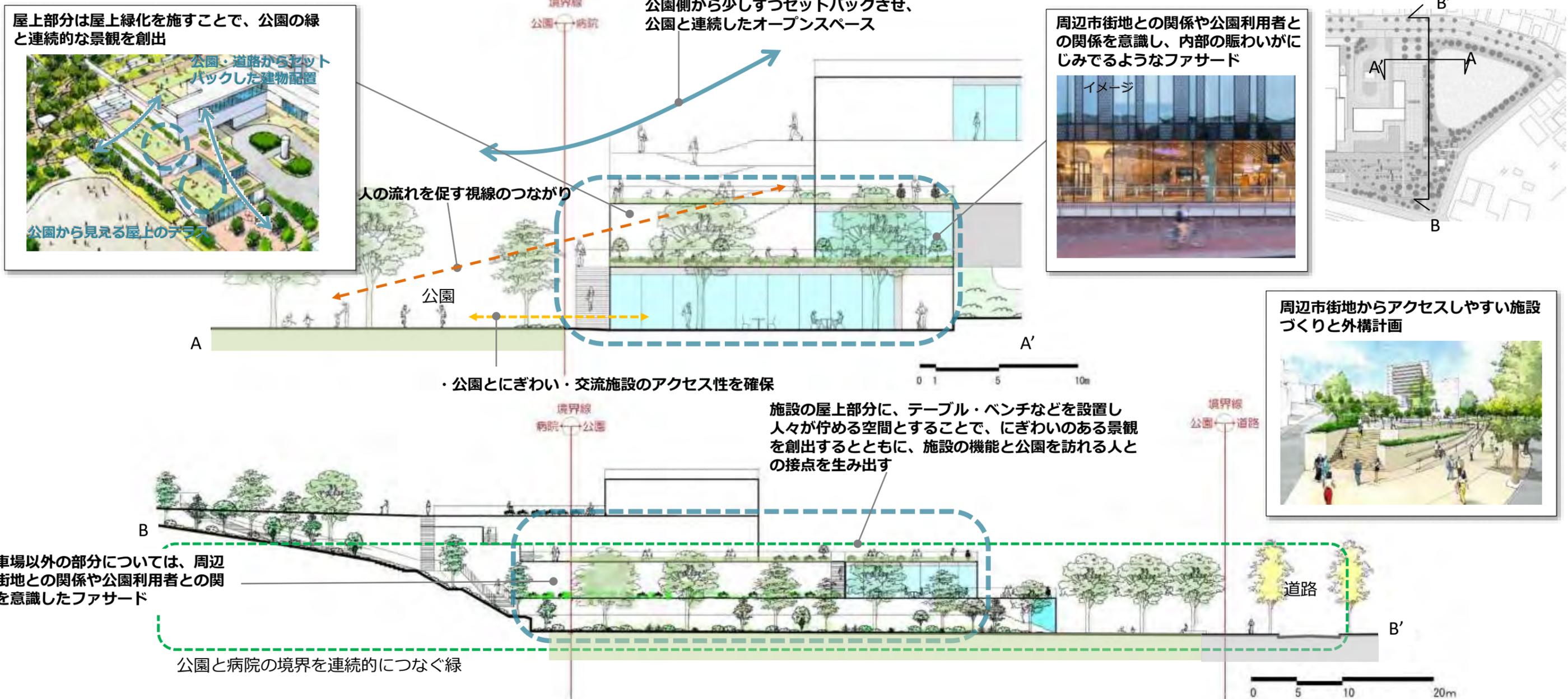
景観形成の配慮事項

- 地形の高低差を生かし、建物のうち公園に面する部分は、公園から見た景観に配慮するとともに、建物上のビューテラスの配置等により、公園を眺められ、人の活動が見える景観を形成します。
- 病院のうち南側の広場に面する部分にピロティ空間を設け、広場の草木や花を楽しむ空間とします。



南側の広場に面する部分に設けるピロティ空間のイメージ

公園等に向けた表情づくり



※樹木の高さや葉張りについては将来成長を見込んだイメージです。

※本資料は、当地区の景観形成について、横浜市都市美対策審議会景観審査部会より意見を伺うための資料であり、計画内容が確定したものではありません。
 ※計画内容については、今後関係機関と協議の上、決定していきます。また、今後の検討によって内容を変更する場合があります。